

千秀だより

横浜市立千秀小学校 令和2年(2020)5月7日

5月号

URL : www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/senshu/

学校教育目標『自分で考え 表現し 挑戦し続ける子』



明日へ

校長 富田 操

「卒業して初めてわかったんだけど、学校って、何にも約束しなくても来れば友だちに会えるところだったんだね。」

ずいぶん前に、卒業させたばかりの子どもがこう言っていたのを思い出します。

何も約束をしてなくても、毎日来れば友だちや先生に会えるところ・・・それが学校です。しかし、今日のような状況になって、それがいかに大切なことだったか、いかに尊いことだったか、そして今となってはそれがいかに難しいことだったのか、が分かります。

私たち教師にとっても子どものいない状態の学校がこんなにも長い間続くのを経験するのは初めてであり、湧いてくる寂しさ、空しさは想像を絶するものでした。

とは言え、それも、子どもたちや保護者の皆様の苦労や心痛に比べれば、大したことではありません。5月31日まで休業が続くとすれば、3か月間、子どもたちはどのような心理状態で過ごしてきたのか、そして、これから過ごしていくのか・・・。

また、保護者の方々も、日々の生活の中で、ご自分自身のことも大変な上に、子どもたちのことも心配しなくてはならない・・・これもまた想像を超えるご苦労であろうと思います。

千秀小では、4月の学校再開ができないという決定連絡を受け、「学習課題がこのままスキル・ドリルだけでは、子どもの思考力が動かない。」と考え、教職員で子どもたちが「予習」をするという形で、少しでも子どもが「自分で考える」ことができるような学習課題を考えました。具体的な問題や数字をのせる場合は、教職員がオリジナルに問題を考えました。その中で、子どもにとっては、取り組むのが難しい部分もあるということ、スマートフォンで見える場合は見にくいということ、など課題も見つかりました。

もう少し、学校再開まで時間がかかりそうな状況ですので、その課題を踏まえ、課題を印刷物にして直接届けるようにする等、次の新しい家庭学習への取り組みを考えていきます。その内容や届け方に関してはメール・HPでお伝えしていきます。そこで学んだことは、学校が再開されてからの授業に必ず役立ちます。お手数をおかけしますがご家庭でのお声かけ・ご支援もよろしくお願いいたします。

年間の行事計画なども見直しをして行かざるを得ません。延期するのか、中止するのか、難しい判断が山積していますが、少しでも可能性のあることに関しては、「子どもたちにとって」ということを基準にぎりぎりの決断をしていきます。

学校は、ただの組織ではなく「子どものための教育の場」であるということを忘れずに一つひとつのことを丁寧に決めていかねばならないと思っています。それでも残念ながら、どうしても中止にせざるを得ない、というものも出てくると思います。その際は、ぜひご理解とご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。